

教育の基本方針について

1 第2回新しい学校づくり阿南市地域協議会における論点整理

- (1) 日 時 平成19年1月15日(月) 午後7時から午後9時まで
- (2) 場 所 阿南工業高校 会議室
- (3) 議 題 新しい学校の教育について

新しい学校の教育について

- 生徒の個性や多様性を理解して育てる学校とする。
- 自ら目標を定めて、生きる力を養っていくことが大切であり、そのためには、学校規模を確保して、多様な科目選択が可能な学科を目指す必要がある。
- 家庭と学校との連携が大切であり、保護者が来やすい学校とし、子どもも保護者も興味を持てる学科を設置する。
- 21世紀の少子高齢化の中で生きていく力は、社会人としての常識、学力、倫理観である。それを身につけた人材を育成する教育が必要であり、高校で職業人としてのベースを創る必要がある。
- 阿南地域が活性化する職業教育が必要である。
- 実務者の教育を行うことになっても、あくまで、高校であるという姿勢、基本を忘れず、多感な時期の子どもの人間教育を忘れてはならない。
- 普通科であろうと職業科であろうと、人生をいかに生きるかを勉強できることが重要である。
- 高校受験のときに自分の将来を決めている生徒は一握りであるため、高校に入ってから、自分の将来をきちんと決められるような学校、教育システムにしていきたい。
- 新しい学校の土台づくりには、自分の人生のあり方や生き方を考えることなどを通して自己実現を目指す総合学科の教育のメリットを活かせる。
- PTAや同窓会など、地域と連携する必要がある。また、一つの学校のPTAだけでなく地域の学校と連携を取り、学校の枠を越えて協力していく必要がある。

その他

- 子どもが多様な教育を選択できるように、阿南地域にも中高一貫教育の導入が必要である。
- 特徴的な教育の内容を協議する前に、阿南地域、県内の人口や生徒数、企業の要求する人材についての共通理解が必要である。
- 21世紀の社会に対応する学校を考えるためには、21世紀の社会がどうなっていくのかという共通認識が必要である。

2 教育の基本方針(案)

(1)目指す学校像

- ア)生徒一人ひとりの個性や可能性を伸ばす学校
- イ)国際化, 情報化など時代の変化や多様な生徒の進路に対応できる学校
- ウ)望ましい職業観, 勤労観を育成する学校
- エ)人権教育を推進する学校
- オ)地域に開かれ, 地域に貢献できる学校

(2)育てたい生徒像

- ア)自ら学び, 自ら考え, 主体的に判断・行動できる生徒
- イ)国際化・情報化社会に生きる日本人としての豊かな教養と感性を身につけた生徒
- ウ)インターンシップなどを通して起業家精神を養うとともに, 社会規範を身につけた生徒
- エ)互いの人権や自他の生命を尊重し, 支え合う仲間づくりに努める生徒
- オ)校外におけるボランティア活動などにも進んで取り組むなど, 地域の一員としての自覚を持った生徒

3 特色ある教育

現在の2校の設置学科とコース, 系列について

(1) 阿南工業高校

工業類	機械電子コース
	電気コース
	情報土木コース
	理数コース

(2) 新野高校

総合学科	情報理数系列
	コミュニケーション人文系列
	暮らしクリエイト系列